

日付チェック機能の説明および新元号対応について

1. Celavi-iWiz における日付チェック機能の概要

Celavi-iWiz の日付チェックは、プログラム作成時に日付チェック属性の指定をすることで、フィールドの桁数(4桁～8桁)に従って年月日の範囲チェックを行う機能です。

桁数とチェック方法、有効範囲は以下のようになります。

フィールドの桁数	チェック方法	有効範囲
4	月(2桁)日(2桁)	月:01～12 日:01～31(1,3,5,7,8,10,12月) 01～30(4,6,9,11月) 01～28(2月 ^{※1})
5	元号(1桁)年(2桁)月(2桁)	元号:M(明治)、T(大正)、S(昭和)、H(平成) ^{※2} 年:01～45(明治) 01～15(大正) 01～64(昭和) 01～99(平成) 月:01～12
6	年(2桁)月(2桁)日(2桁)	年:00～99 月:01～12 日:01～31(1,3,5,7,8,10,12月) 01～30(4,6,9,11月) 01～28(2月 ^{※1})
7	元号(1桁)年(2桁)月(2桁)日(2桁)	元号:M(明治)、T(大正)、S(昭和)、H(平成) ^{※2} 年:01～45(明治) 01～15(大正) 01～64(昭和) 01～99(平成) 月:01～12 日:01～31(1,3,5,7,8,10,12月) 01～30(4,6,9,11月) 01～28または29(2月 ^{※3})
8	西暦年(4桁)月(2桁)日(2桁)	年:0100～9999 月:01～12 日:01～31(1,3,5,7,8,10,12月) 01～30(4,6,9,11月) 01～28または29(2月 ^{※3})

(※1)4桁と6桁の2月の範囲は、ジョブ情報画面の「日付」タブ設定で29日までになります。

(※2)5桁と7桁の元号の入力記号は、ジョブ情報画面の「日付」タブで設定します。

(※3)7桁と8桁の2月の範囲は、うるう年は自動的に29日までになります。

☆元号付き年月日(和暦)の有効範囲の詳細は以下の通りです。

- ・明治:01年09月08日から45年07月29日まで。
- ・大正:01年07月30日から15年12月24日まで。
- ・昭和:01年12月25日から64年01月07日まで。
- ・平成:01年01月08日から99年12月31日まで。

2. 日付チェックの設定方法

Celavi-iWiz の日付チェックがどのように設定されているか、設定方法をご説明します。

2-1. ジョブ情報画面の設定

- 1) インデックス画面を表示し、エントリーカタログを読み込みます。
- 2) 環境作成キーを押すか、メニューバーの「編集(E)」→「環境作成(P)」を選択して環境作成を開きます。

The screenshot shows a software window titled 'インデックス-aau79038'. The menu bar includes '774(F) [E]', '編集(E)', '検索(S)', '表示(V)', and 'ヘルプ (H)'. The main area is labeled 'MODEL/N' and contains several input fields: 'タイトル' (empty), 'カタログ名' (HIDUKE), 'ジョブ名' (HIDUKE_), 'バッチ番号' (empty), '枝番号' (00), 'プログラム番号' (001), 'レコード長' (100), '1バイトテーブル' (JISコード), '2バイトテーブル' (SJIS), and 'コメント' (empty). A '参照' button is next to the 'カタログ名' field. Below the fields, there are labels for '総レコード数', '削除レコード数', '挿入レコード数', '作業時間', 'データ検査の終了', 'ベリファイ完了回数', and '作成可能件数(1.4MB当)'. The bottom status bar contains buttons for 'ヘルプ', 'エントリ', 'ベリファイ', '参照', '作業統計', 'オンライン入力', 'キャンセル', and '機能切替'.

- 3) 環境作成画面で、F2(ジョブ情報)キーを押して、ジョブ情報画面を開きます。

The screenshot shows a software window titled '環境作成-aau79038'. The menu bar includes '774(F) [E]', '表示(S)', and 'ヘルプ (H)'. The main area has three input fields: 'カタログ名' (HIDUKE), 'タイトル' (empty), and 'コメント' (empty). The bottom status bar contains buttons for 'ヘルプ', 'ジョブ情報', '入力フォーマット', 'コンバート', 'リロード', '開く', '保存', '削除', '終了', and '機能切替'. The 'ジョブ情報' button is highlighted with a red box.

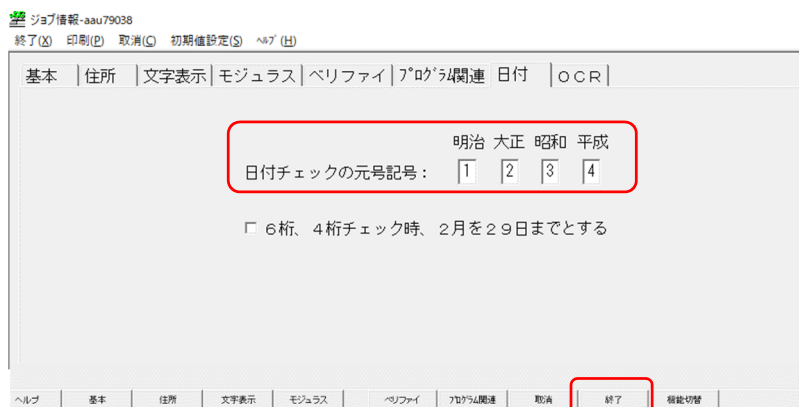
3) ジョブ情報画面で、「日付」タブを開きます。



4) データ仕様に合わせて元号の入力記号を変更出来ます。

例) M・T・S・T を 1・2・3・4 に変更

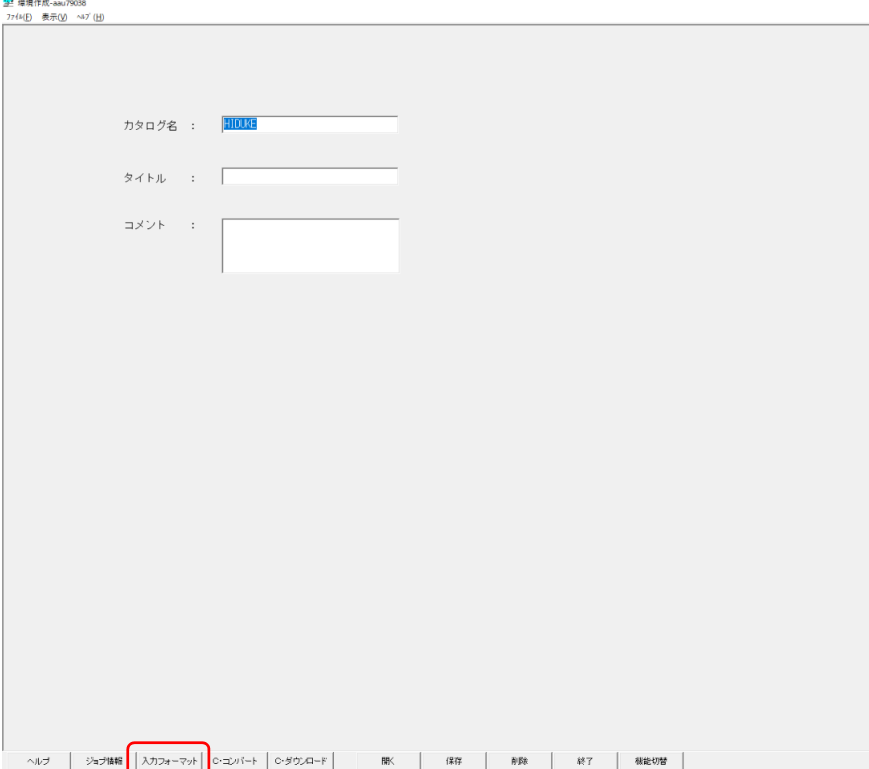
5) F9(終了)キーを押して、環境作成画面に戻ります。



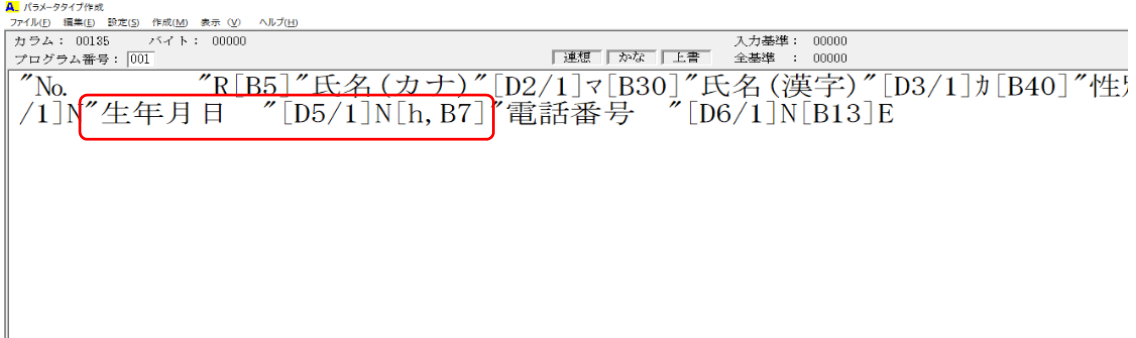
2-2. 入力フォーマットの設定

2-2-1. パラメータタイプの場合

1) 環境作成を開き、F3(入力フォーマット)キーを押して、入力フォーマット画面を開きます。



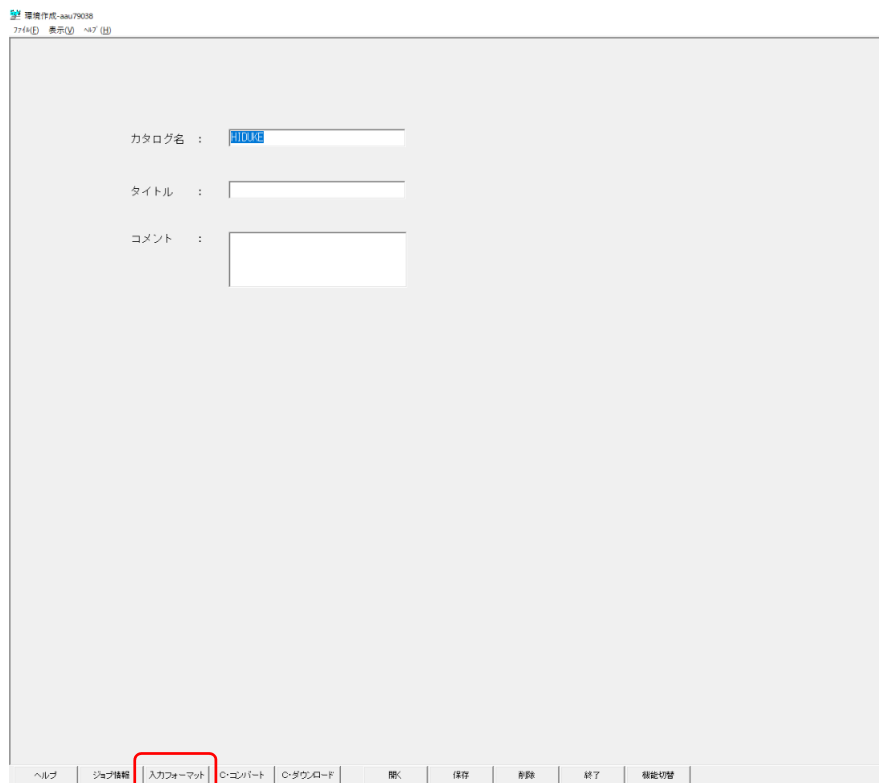
2) 日付チェックしたいプログラム番号を参照し、該当のフィールドに、フィールド制御[h]を指定します。
例では、7桁の生年月日フィールドに日付チェックを指定してあります。



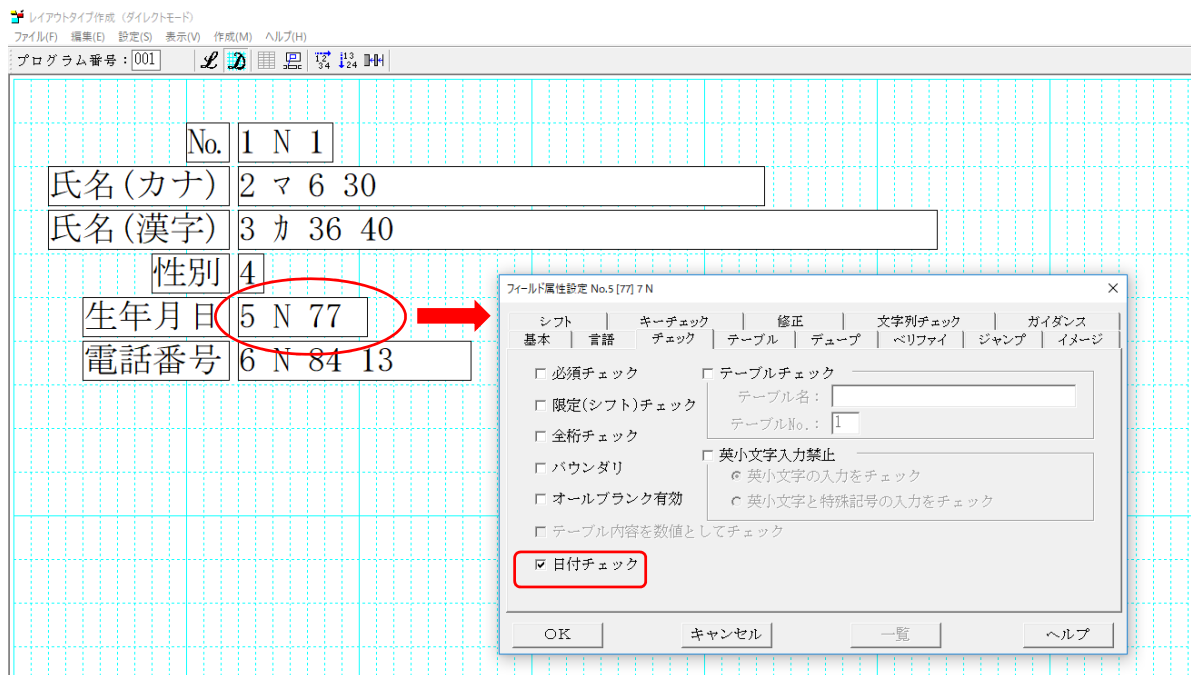
3) プログラム登録、カタログの保存を行い完了です。

2-2-2. レイアウトタイプの場合

1) 環境作成を開き、F3(入力フォーマット)キーを押して、入力フォーマット画面を開きます。



2) チェックしたいプログラム番号を参照し、該当のフィールドの属性画面を開き、[チェック]タブの「日付チェック」をチェックします。



3) プログラム登録、カタログの保存を行い完了です。

3. 新元号対応について

2019年5月から施行される新元号の対応として、上記で説明した日付チェック機能に新元号を追加すると共に、平成の有効範囲を、平成31年4月30日までとします。

3-1. ジョブ情報画面の変更

ジョブ情報画面の[日付]タブに、新元号の記号欄を追加します。

ジョブ情報-aau79038
終了(X) 印刷(P) 取消(C) 初期値設定(S) ヘルプ(H)

基本 | 住所 | 文字表示 | モジュール | ベリファイ | プログラム関連 | 日付 | OCR

明治 大正 昭和 平成 **新元号**

日付チェックの元号記号: M T S H

6桁、4桁チェック時、2月を29日までとする

3-2. 平成の有効範囲の変更

5桁と7桁の有効範囲は以下のようになります。(新元号が未定なので記号を?で表しています)

フィールドの桁数	チェック方法	有効範囲
5	元号(1桁)年(2桁)月(2桁)	元号:M(明治)、T(大正)、S(昭和)、H(平成)、?(新元号) 年:01~45(明治) 01~15(大正) 01~64(昭和) 01~31(平成) 01~99(新元号) 月:01~12
7	元号(1桁)年(2桁)月(2桁)日(2桁)	元号:M(明治)、T(大正)、S(昭和)、H(平成)、?(新元号) 年:01~45(明治) 01~15(大正) 01~64(昭和) 01~31(平成) 01~99(新元号) 月:01~12 日:01~31(1,3,5,7,8,10,12月) 01~30(4,6,9,11月) 01~28または29(2月)

☆元号付き年月日(和暦)の有効範囲の詳細は以下の通りです。

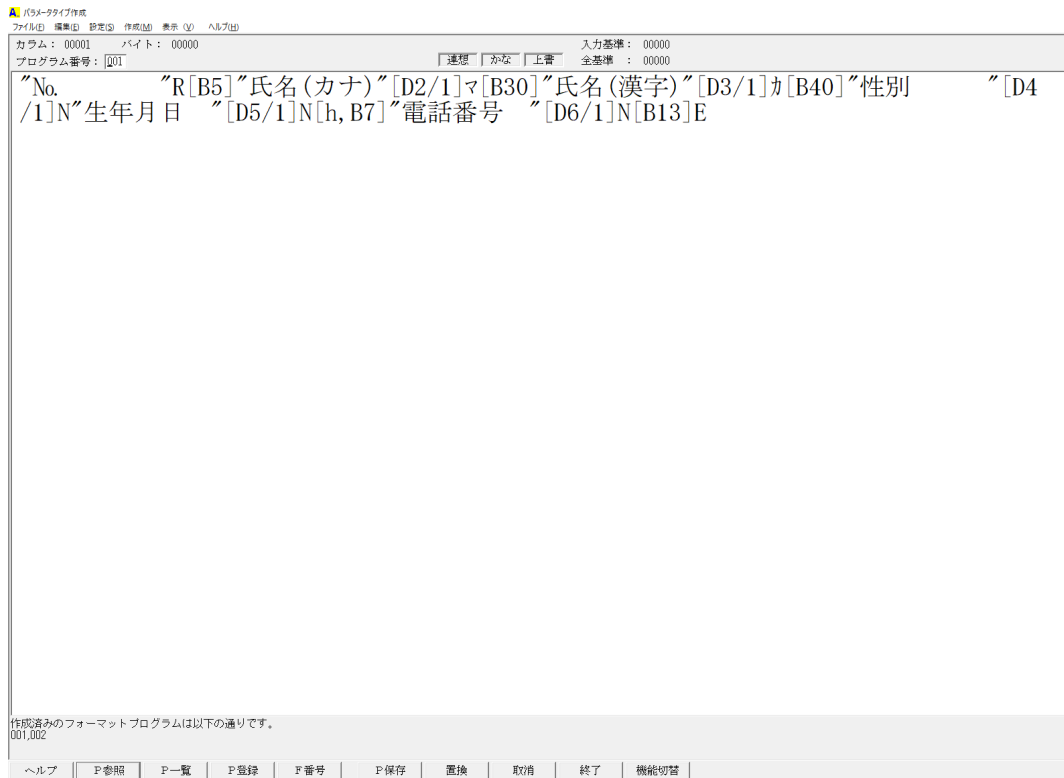
- ・明治:01年09月08日から45年07月29日まで。
- ・大正:01年07月30日から15年12月24日まで。
- ・昭和:01年12月25日から64年01月07日まで。
- ・平成:01年01月08日から31年04月30日まで。
- ・新元号:01年05月01日から99年12月31日まで。

4. 日付チェック機能使用状況の確認方法

日付チェック機能を使用しているかは、エントリーカタログを1つずつ開いて確認するしか方法がありません。

4-1. パラメータタイプの場合

インデックス画面でエントリーカタログを読み込み後、入力フォーマットを開き、プログラムを参照して、フィールド制御[h]を使用しているフィールドがあるかを確認します。

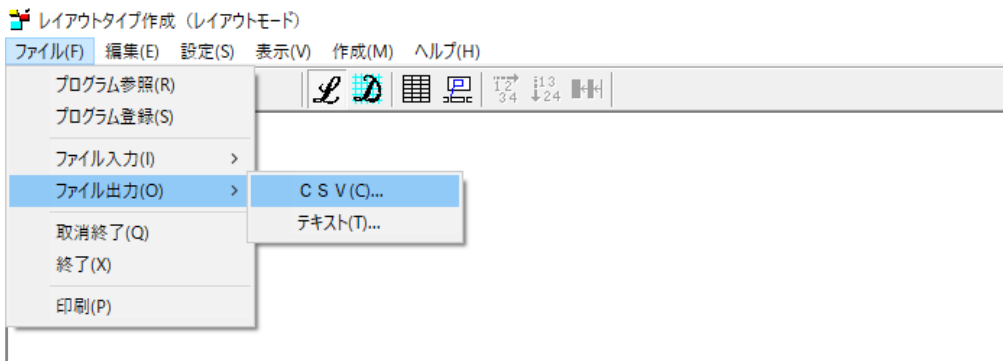


4-2. レイアウトタイプの場合

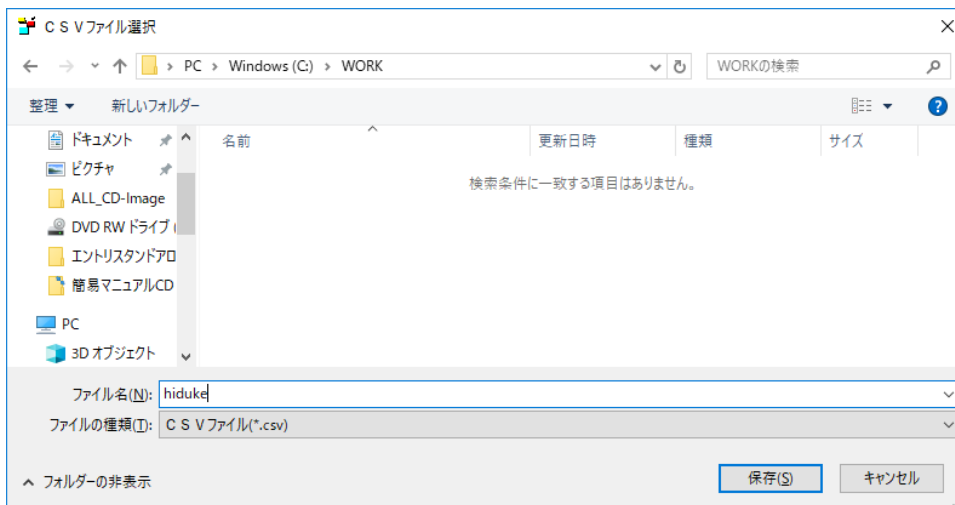
パラメータタイプ同様、1つずつプログラムを参照して属性を開いて確認するか、入力フォーマットをファイル出力して、Excel で確認する方法があります。ファイル出力の方法を以下に記載します。

4-2-1. 入力フォーマットのファイル出力方法

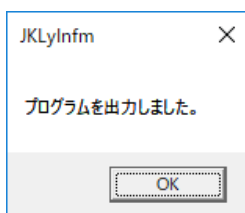
- 1) エントリーカタログを読み込み後、入力フォーマットを開きます。
- 2) メニューバーの「ファイル(F)」→「ファイル出力(O)」→「CSV(C)」を選択します。



- 3) 任意の保存場所を指定して、ファイル名を指定し保存します。



- 4) 「プログラムを出力しました」と表示したら OK します。



- 5) 入力フォーマット画面を終了します。

4-2-2. Excel での確認方法

- 1) 上記でファイル出力した入力フォーマットのファイルを Excel で開きます。(拡張子が CSV なので、通常ダブルクリックすると Excel で開きます。)
- 2) 入力フォーマットの内容が表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1			80			1	0									
2	PRG001															
3	N	52	96	251	356	1	5									
4	マ	100	144	251	831	6	30			1			0			
5	カ	148	192	251	1021	36	40									
6	N	196	240	251	280	76	1									
7	N	244	288	251	394	77	7									
8	N	292	336	251	508	84	13									
9	"	52	96	194	242			2 No					0			
10	"	100	144	42	242			10 氏名(カナ)					0			
11	"	148	192	42	242			10 氏名(漢字)					0			
12	"	196	240	156	242			4 性別					0			
13	"	244	288	80	242			8 生年月日					0			
14	"	292	336	80	242			8 電話番号					0			
15	PRG002															
16	N	52	96	251	356	1	5				1		0			
17	マ	100	144	251	831	6	30									
18	カ	148	192	251	1021	36	40									
19	N	196	240	251	280	76	1									
20	N	244	288	251	394	77	7									
21	N	292	336	251	508	84	13									
22	"	52	96	194	242			2 No					0			
23	"	100	144	42	242			10 氏名(カナ)					0			
24	"	148	192	42	242			10 氏名(漢字)					0			
25	"	196	240	156	242			4 性別					0			
26	"	244	288	80	242			8 生年月日					0			
27	"	292	336	80	242			8 電話番号					0			
28																
29																
30																
31																

- 2) AE列(31列目)に“1”が出力されていれば、日付チェックを使用しています。

	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ
1																
2																
3											1					
4																
5																
6																
7											1					
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16											1					
17																
18																
19																
20																
21											1					
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																
29																
30																
31																

5. 日付チェック機能以外で、和暦を扱っているプログラムについて

Celavi-iWiz 標準の日付チェック機能以外の方法で、入力時のチェックや、データ出力時の変換などで和暦を扱っているプログラムについては、お客様ご自身で修正をお願いいたします。

和暦を使用しているプログラム数の洗い出しなど、早めのご準備をお願いいたします。

以下に、いくつかのプログラム例を記載します。

5-1. 例1 テーブルチェックによる元号チェック

1) 1桁のフィールドで元号のチェックをしている場合

2) パラメータタイプの入力フォーマットでは、フィールド制御[Tn]を指定し、テーブルチェックを作成しています。 (n...テーブルNo.)

入力フォーマット画面で、F10(機能切替)→F2(テーブル定義)を開き、チェックテーブル名の作成を押し、該当のテーブルNo.に有効にするチェックデータを追加します。

テーブルファイル名定義

チェックテーブル作成 - (HIDUKE)

有効データを追加

5-2. 例2 文字列チェックによる元号チェック

1) 1桁のフィールドで元号のチェックをしている場合

このスクリーンショットは、データ入力ソフトウェアの画面を示しています。フィールドには以下のような値が入力されています：

No.	00001
氏名(カナ)	ジューキ
氏名(漢字)	重機
性別	1
生年月日	S 131215
電話番号	

「生年月日」フィールドの最初の文字「S」は赤い四角で囲まれています。これは、元号（昭和）のチェックを示しています。

2) レイアウトタイプの入力フォーマットでは、フィールド属性の[文字列チェック]タブを開き、入力許可欄に、有効にする記号を追加します。

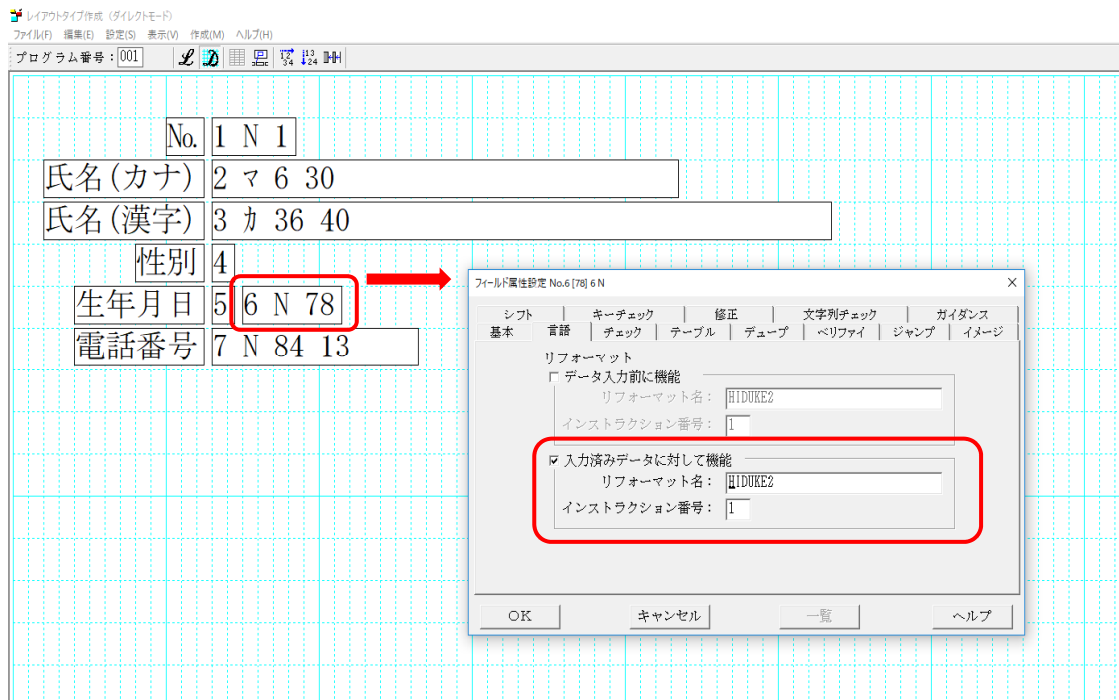
このスクリーンショットは、レイアウトタイプ作成（ダイレクトモード）の画面を示しています。フィールド属性設定 No.5 [77] 1 N の「文字列チェック」タブが開かれています。

フィールド属性設定 No.5 [77] 1 N の「文字列チェック」タブが開かれています。入力許可欄には「M,T,S,H,-」と入力されています。入力禁止欄は空です。赤い矢印と吹き出しで「入力許可文字を追加」と指示されています。

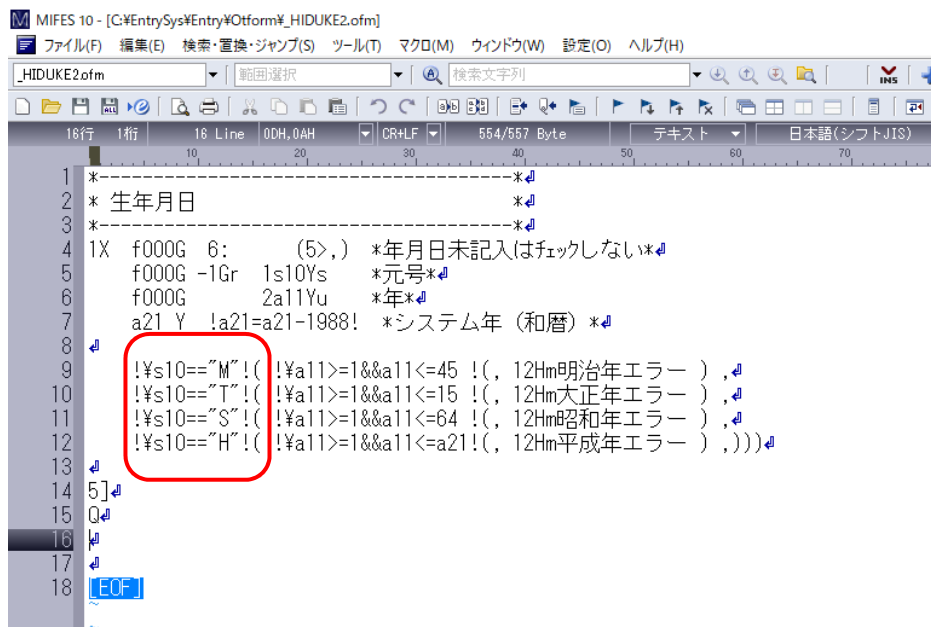
No.	1 N 1
氏名(カナ)	2 マ 6 30
氏名(漢字)	3 カ 36 40
性別	4
生年月日	5 6 N 13
電話番号	7 N 84 13

5-3. 例3 リフォーマット言語による年月日のチェック

1) フィールド属性の[言語]タブで、リフォーマット名とインストラクション番号を確認します。



2) リフォーマットを開き、元号による処理があれば、処理を追加します。



5-4. 例4 メディアコンバート(出力)時のデータ置換

メディアコンバート(データ出力時)に和暦を扱う場合もあります。

The screenshot shows the MIFES 10 interface. The 'メディアコンバート - [JUK12-3SOUT]' dialog box is open, with the 'リフォーマット(E)...' button highlighted. The dialog shows input and output media settings. The main window displays a data table with columns for date and time. A red arrow points from the dialog to the table header '7桁年月日'. A red box highlights the table content, and a speech bubble points to it with the text 'データ出力時に和暦を西暦に変換'.

1行	1桁	1 Line	31H	CR+LF	1/3,123 Byte
1	IX	R	Z(,.)		
2			! <td></td> <td></td>		
3			!		
4			!		
5	1G	8s01Ys	2} 4}	* 年月日	*!
6	9G	20s01Ys	2} 4}	* 氏名(カナ)	*!
7	29G	30s01Ys	3} 4}	* 氏名(漢字)	*!
8	59G	1s01Ys	2} 4}	* 性別	*!
9	60G	7s01Ys	9} 5}	* 生年月日	*!
10			!		
11	a01U	W	!		
12			!		
13			!		
14			!		
15			!		
16	*		-----*		
17	*		* サブルーチン: ANK後ろスペーストリム *		
18			!		
19	2X	Sc	!s91=s01! 1s92Yt !a91=1! s01St	* トリム(半角SP)	*!
20			s01Is !a01=a01+a92!	* 残った長さa92加算*	*!
21			!		
22	*		-----*		
23	*		* サブルーチン: 漢字後ろスペーストリム *		
24	*		* (全角SPを半角に置換してトリムする) *		
25			!		
26	3X	Sc	!s91=s01! 2s92Yt 2s93Yt s01Sr	* 置換(全角→半角)	*!
27			Sc !s91=s01! 1s92Yt !a91=1! s01St	* トリム(半角SP)	*!
28			Sc !s91=s01! 2s92Yt 2s93Yt s01Sr	* 置換(半角→全角)	*!
29			s01Is !a01=a01+a91!	* a91を加算で正しい*	*!
30			!		
31	*		-----*		
32	*		* サブルーチン: カンマ挿入 *		
33			!		
34	4X	1P,	!a01=a01+1!		
35			!		
36	*		-----*		
37	*		* サブルーチン: 改行コード挿入(0D0A) *		
38			!		
39	5X	Hx0D Hx0A	!a01=a01+2!		
40			!		
41	*		-----*		
42	*		* 7桁年月日→区切り編集 *		
43	*		* 和暦を西暦に変換する *		
44	*		* 例)9520601→1977/6/1 *		
45	*		* 4271003→2015/10/3 *		
46	*		* 5081231→2008/12/31 *		
47	*		* オールファンク→ *		
48			!		
49	9X	Sc	!s91=s01! 1s92Yt !a91=1! s02St	*ANK後入^~ストリム*	
50			!%a92=0!(
51			Sc !s91=s01! !a91=0! !a92=1! !a93=1! s03Sm	*先頭1桁抽出*	
52			Sc !s91=s01! !a91=0! !a92=2! !a93=2! s02Sm	*2桁目~2桁(年)抽出*	
53			!a02=s02!	*数値代入*	
54			!%s03=="M"!(!a02=a02+1867!,	*明治*	
55			!%s03=="T"!(!a02=a02+1911!,	*大正*	
56			!%s03=="S"!(!a02=a02+1925!,	*昭和*	
57			!%s03=="H"!(!a02=a02+1988!,	*平成*	
58			!s02=a02!	*文字列代入*	
59			s02Is 1P/ !a01=a01+5!	*出力後/挿入*	
60			!		
61			Sc !s91=s01! !a91=0! !a92=4! !a93=2! s02Sm	*5桁目~2桁(月)抽出*	
62			Sc !s91=s02! 1s92Yt !a91=1! s02St	*入^~ストリム*	
63			Sc !s91=s02! 1s92Yt0 !a91=2! s02St	*前0トリム*	
64			s02Is 1P/ !a01=a01+a92+1!	*出力後/挿入*	
65			!		
66			Sc !s91=s01! !a91=0! !a92=6! !a93=2! s02Sm	*7桁目~2桁(日)抽出*	
67			Sc !s91=s02! 1s92Yt !a91=1! s02St	*入^~ストリム*	
68			Sc !s91=s02! 1s92Yt0 !a91=2! s02St	*前0トリム*	
69			s02Is	*出力*	
70			!		
71			!		

以上